



学校経営の方針

本校は、生徒の多様な個性が輝く学校として、これまで確かな歩みを進めてまいりました。しかし、その一方で、激しく変容する社会の中で、次代を担う生徒の育成のために、よりいっそう魅力あるいわき総合高校を作り上げていくことが必要となっています。そのために、校是「個性・自律・創造」を基軸とし、「本校で育成を目指す資質・能力」を下記のとおり定めました。これらを踏まえ、以下の各項目を指針としながら、本校ならではの専門的な教育、創造的な教育をさらに追求してまいります。

- 1 学業と表現活動を高いレベルで両立させます。
- 2 「学びの深化」「コミュニケーション」「多様性の中の特色」を基軸とする学校運営を行い、個性的・自律的・創造的な生徒を育成します。
- 3 各系列の特色を生かしたキャリア教育を推進し、生徒の進路目標の実現を図ります。
- 4 地域と連携した様々な教育活動に取り組むとともに、外部への情報発信を積極的に行います。

校長 渡邊 学

個性 自律 創造

本校で  
育成を目指す  
資質・能力

- 他者との協働を目指し、多様性を認める力
- 自己実現に向けて、自分自身を形成する力
- 既存の概念にとらわれないチャレンジ精神

本校はいわき地区唯一の総合学科高校として、生徒一人一人が目標への挑戦を通して躍動・感動・成長する学校です。

<総合学科の特色>

- 将来の職業選択を視野に入れ、生徒自らが進路への自覚を深める学びができます。
- 幅広い選択科目の中から、生徒自らが科目を選択し、個性を生かした主体的な学びができます。

重点目標①

学びの充実

◎総合学科の特性を生かした魅力ある教育課程の整備及び実践に努め、思考力・判断力・表現力の向上を目指す質の高い教育を行う。

- シラバスに則り、アクティブ・ラーニングやインターネットを活用した授業を実践する。オンライン教材や課題の活用を通し、家庭学習との有機的なサイクルを構築する。
- 図書室と各年次・各教科との連携を進め、生徒の学習活動に対する支援を行う。
- 運動の特性・楽しさを理解させ、生涯スポーツにつながる力を育成する。
- 大学、行政、各種団体及び地域との連携を進め、国際社会に主体的に生きる力を養う。

【重点指標】

- ・新学習指導要領を踏まえた教育課程、科目選択及び観点別評価の研究の推進。(教務部)
- ・授業力向上のための職員研修の推進。(教務部)
- ・朝自習、課題提出の徹底。(1年次)
- ・課題提出の徹底及び Classi を活用した学習の定着。(2年次)
- ・大学進学希望者へのきめ細かな指導。(全年次)
- ・読書習慣の定着及び図書年間貸出数目標3,000冊。(図書部)
- ・新体力テストA・B段階者の増加。(保健体育科)
- ・医療創生大、東日本国際大、いわき短期大との連携による特色ある教育の推進。
- ・SDGsを意識した授業の実践。(地歴公民科)

重点目標②

表現活動の充実

◎総合的なコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力を育成する。

- 各年次・各系列の教育活動において、継続的に外部の指導者との連携を進めるなどし、表現活動をより充実させる。
- 多様で充実した部活動・委員会活動等を展開する。
- 生徒主体による生徒会行事やボランティア活動を一層活性化させる。

【重点指標】

- ・各授業における発表、国語科での創作活動、地歴公民科における税の作文、英語科における弁論大会等、生徒主体の表現の場の提供。(人文・国際系列)
- ・新聞教材を活用したR80の実践。(進路指導部)
- ・ALTの活用によるコミュニケーション力、国際感覚の育成。(英語科)
- ・ホームプロジェクトの実施と発表の実践。大学、特別支援学校、各施設等との連携による高度な学習の実現。現代社会における諸課題の解決に向けての探究とプレゼンテーションの実施。(生活福祉系列)
- ・各教科における発表、展示及び系列内でのコラボレーションの実施。授業や地域における2回以上の発表、作品の定期的な展示。(芸術・表現系列)
- ・リーダー研修会の実施、合同研修会への積極的参加。(生徒指導部)
- ・生徒が主体となつての常盤樹祭の成功。(生徒指導部)

重点目標③

キャリア形成

◎総合学科の特性を生かし、生徒が主体的に取り組むキャリア教育を推進する。

- 生徒一人一人に対する理解を深め、学力の伸長及び進路目標の実現を図る。
- 資格試験、検定に積極的に取り組ませる。
- 基本的生活習慣の確立、安全教育・情報教育の徹底に努め、自律的・主体的な人間を育成する。
- 感染症予防も含めた健康教育を充実させ、健康の保持増進に努める態度を養う。

【重点指標】

- ・「産業社会と人間」におけるコミュニケーションワークショップの実践、「総合的な探究の時間」における地域探究学習の実践及びルーブリック評価の改良、実践。(総合学科推進部)
- ・2月時点における進路目標実現95%の達成。「TOPIC OF TODAY」の週3回発行による時事問題等への興味関心の向上。(進路指導部)
- ・漢検2級5名、準2級20名以上合格。英検2級5名、準2級20名以上の合格。数検2級1名、準2級6名以上の合格。家庭技術検定90%合格(家庭科)。情報処理検定2級5名合格(商業科)。住環境コーディネーター3級70%合格、手話検定4級90%合格等(看護福祉科)
- ・情報交換会やケース会議、面接旬間の設定による生徒理解の向上。(生徒指導部)
- ・教育活動全体を通しての主権者教育の実践。
- ・校内の環境衛生管理の徹底。(保健厚生部)

重点目標④

情報発信・共有

◎校務の情報化・共有化を推進するとともに、各年次、部、系列間の連携をより深める。

- 学校HPの活用、各種印刷物発行、学校説明会の実施など、様々な手段による情報発信を充実させる。
- PTA会員への情報提供に努め、保護者の諸活動・諸行事への参加を推進する。
- 火災、自然災害、感染症等に対する危機管理体制を整備する。
- 風通しの良い職場作りを進める。

【重点指標】

- ・学校HPの定期更新、「学校案内」の改訂等による本校の魅力発信。
- ・「SOGO PRIDE」の定期的な発行。(生徒指導部)
- ・進路便り年6回以上の発行。(進路指導部)
- ・図書便り年6回以上の発行。(図書部)
- ・家庭クラブ新聞の発行。(家庭科)
- ・学校評価アンケートの結果に基づく教育活動の改善。
- ・「危機管理マニュアル」等の見直しと関係機関との連絡体制の整備。
- ・メールシステム「グルリン」の活用による、生徒及び保護者への情報の確実な伝達。
- ・教職員が気軽に話し合い、相談し合うことのできる、オープンな雰囲気醸成。
- ・人事評価制度を活用しての意思疎通の促進。
- ・超過勤務の縮減、年次有給休暇の取得推進。

※上記の重点目標は、学校経営方針及び各年次・部・系列・教科の努力目標をもとに、学校全体で重点的に取り組む内容をまとめたものであり、自己評価及び外部評価の対象となるものです。